

芳子殺君古御をよめる
高家よりつとめ除力
風難をよるは空と歩し船
切滞りし古御の趣
父の右腕の素あるまかや
と風かふる車とりの
いふはしるはるるり

けし年屋ふはるる 暮山
鈴の歩行の事

松の山路の宿 暮山
年のはるる

東風の吹く時節をうた
ゆえん冬の花

旅立ちの歌を 梅
さるるるるるるる

けし年やまのこ 巴山
離るるるるるるる

戌禰月

